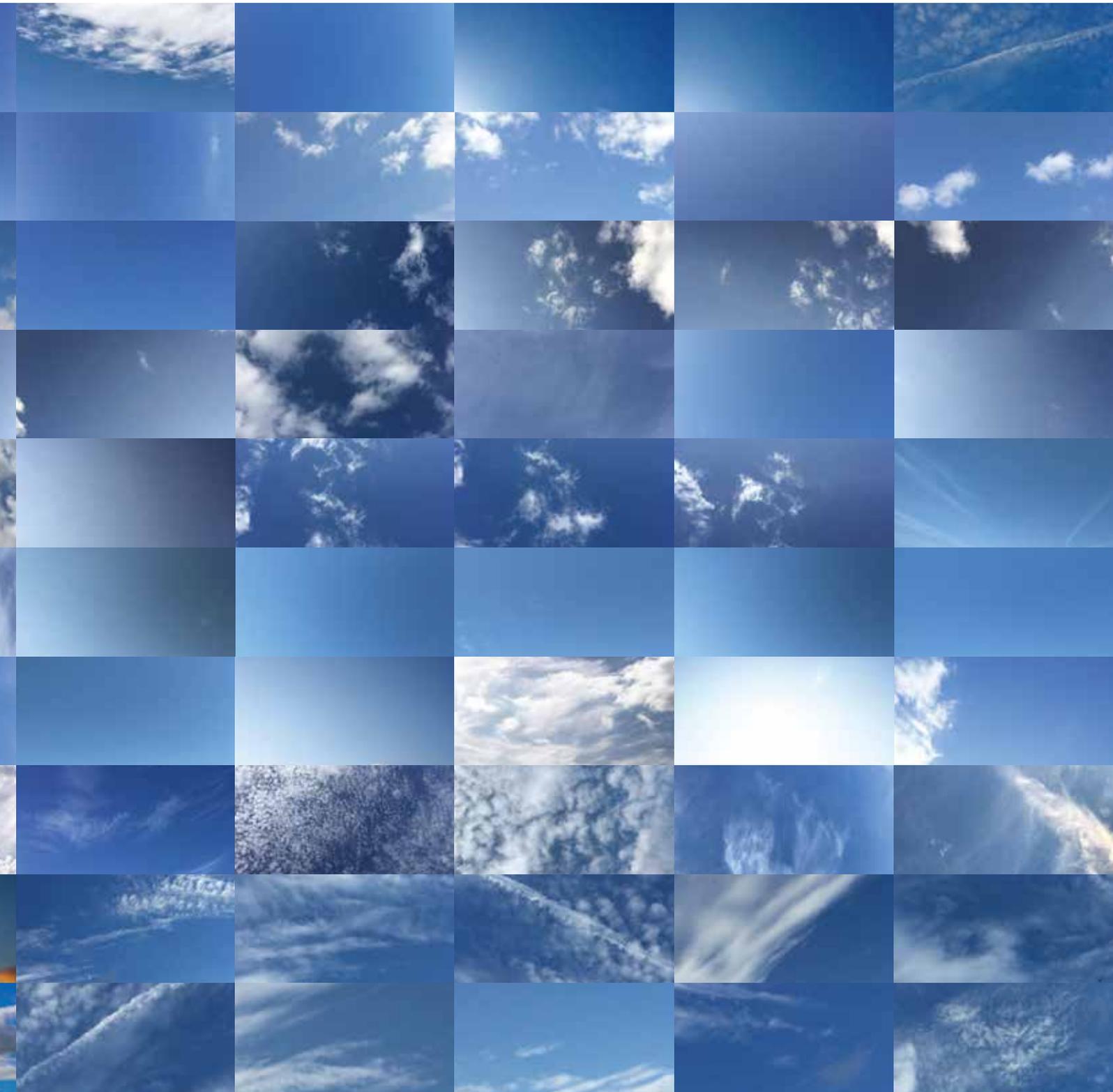




**FUKUTAKE
EDUCATION AND CULTURE
FOUNDATION**

2023





Founder
FUKUTAKE Tetsuhiko

[設立者]
福武哲彦

「文化化」は、即座に収益面でプラスにならないかもしれないが、私は「文化」からはずれるような仕事はしたくない。「文化」に投資して、それが回りまわって会社の経営をバックアップするという形になれば、最高の投資ともいえる。直接手に収益につながらなくても、会社の質の向上になる。例えば福武文化財団の構想などは、私のビッグドリームである。
——「福武の心」から



2017-
MATSUURA Toshiaki

[現 理事長]
松浦俊明

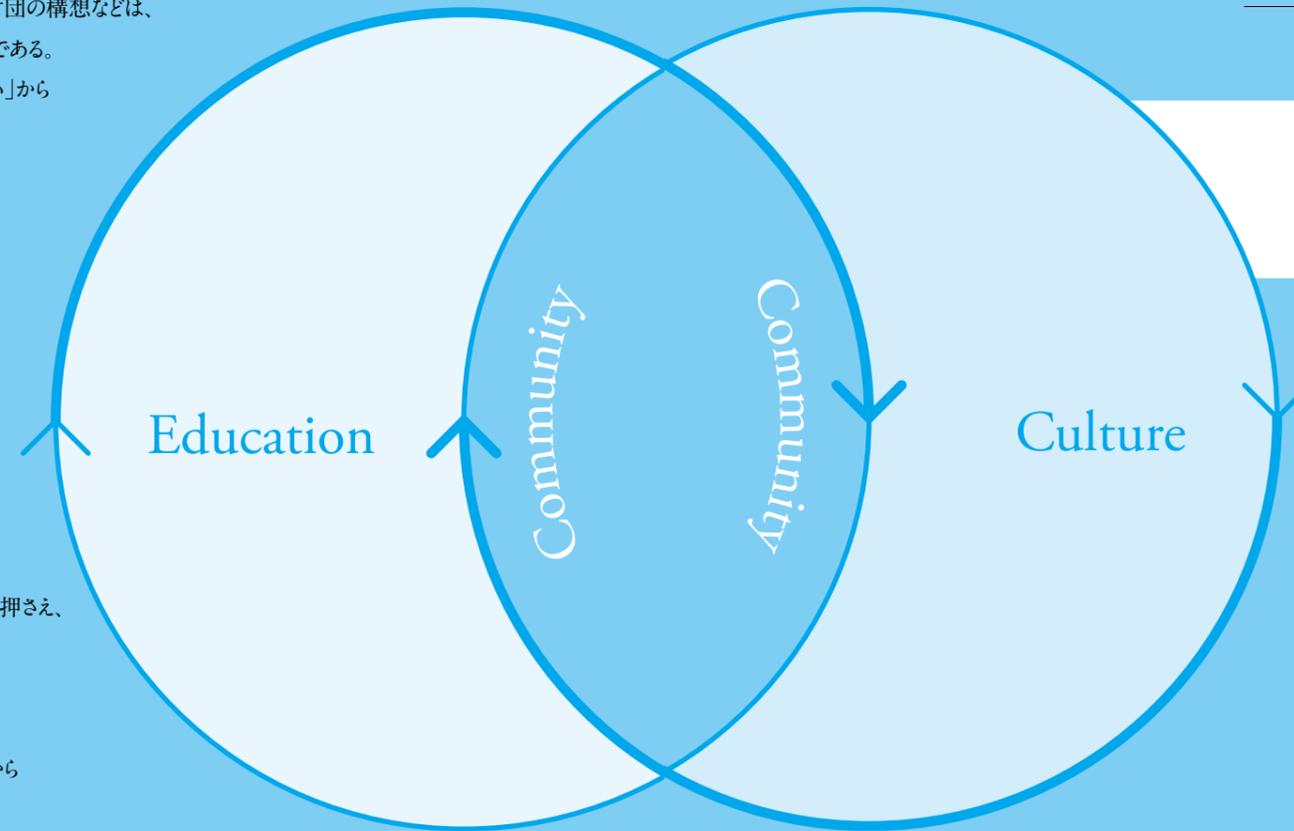
文化芸術を通じた社会課題の解決というのは、財団の存在意義そのものだと思います。財団が直接、何かをするわけではないのですが、世の中には、文化芸術を通じて課題を解決しようとしている人がたくさんいて、その活動の後押しをするのが財団の役割です。そういう芽がどんどん出てくるような地域になるように、今後も引き続き波及効果のある活動をどんどん応援していきたいです。
—— 機関誌「FUEKI64号」(2017) 理事長就任記念対談から



1986-1999
TANIGUCHI Sumio

[初代 理事長]
谷口澄夫

機関誌の題名を「不易」としたのは、教育と文化のいずれにおいても、変遷著しい社会や人の心は十分に認識し、それらに対応することは必要ではありますが、いたずらに社会の変転に右顧左眄することなく、財団の依って立つべき不変の基本理念をしっかりと押さえ、それに従って財団を運営し、諸活動を展開していかなければならないという、自らの戒めを表したものであります。
—— 機関誌「不易」創刊号(1998)ご挨拶文から



ミッション Mission

教育と文化・芸術の両面から、
地域社会にアプローチする。
教育と文化の両面から、
地域社会の課題解決と社会的価値の
創造を図る活動を応援します。



2000-2015
FUKUTAKE Soichiro

[第二代 理事長]
福武總一郎

人々を心豊かにするのは経済活動だけではできません。経済の繁栄だけを目的化すると、かえって人々は不幸になると思います。文化、すなわち「人々が幸せになれる、いいコミュニティづくり(お年寄りの笑顔があふれる社会づくり)」のために経済はあるのだと私は思います。
——「瀬戸内海と私」(2010)から



2015-2017
FUKUTAKE Junko

[第三代 理事長]
福武純子

そもそも文化というのは、みんなに知ってもらい「いいね」という声がたくさんあがって、それが定着するんだと思います。
—— 機関誌「FUEKI58号」(2015) 理事長就任記念対談から

表彰事業

Award



2022年度福武教育文化賞受賞者

福武教育文化賞

教育文化の振興による魅力的で豊かな人づくり地域づくりに貢献することを目的とし、高い志を持ち、先駆的で地域への波及効果がある取り組みをしている次世代を担う個人・団体を対象に顕彰します。*2019年度より賞を一本化しました。

これまでの実績

福武教育文化賞	——	16件
福武哲彦教育賞	——	69件
福武文化賞	——	34件
谷口澄夫教育奨励賞	——	66件
福武文化奨励賞	——	71件

その他の事業



フォーラム——ここに生きる、ここで創る

[フォーラム——ここに生きる、ここで創る]
地域で活動をしている方をパネリストに迎え、講演やトークセッション、参加者による交流会を開催しています。

[and F 教室]
活動団体に共通する課題解決につながる実践的なセミナーを開催しています。

[広報活動]
機関誌「不易」の発行、公式WebサイトやFacebookによる発信をしています。



機関誌「不易」



福武教育文化振興財団
Webサイト



コミュニケーション・マガジン
and F | アンドエフ



教育文化活動助成
成果報告書アーカイブ

公募助成

Support



日本で最も美しい村の小さな学び舎



糸あやつり人形劇団「つきみ草」

教育文化活動助成

教育と文化の視点から地域振興を図る活動による人づくり地域づくりを応援し、地域が活性化することを期待しています。*募集期間は毎年12月1日から1月31日

教育や文化芸術、地域資源を活用する以下の活動が対象となります。

1. 地域社会(コミュニティ)の活性化に取り組む活動
2. 次世代育成に取り組む活動
3. 教育の質の向上や普及に取り組む活動
4. 文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

*2023年度(3月末時点)までに3,610件の活動に対して7.4億円の助成をしています。
(2023年度は、129件の活動に対して総額3,000万円の助成を決定しています。)

特色ある活動に対する助成



ハロー!ミュージアム

[先進的事業助成]
新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成しています。

[グローバル化事業助成]
英語力の向上やグローバル意識をもつ子どもたちの育成活動を行う団体等に対して助成しています。

[瀬戸内文化育成助成]
瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成しています。

[福武教育文化賞受賞者フォロー助成]
受賞者が行う質の向上と人づくり・地域づくりの活動に対して助成しています。

2022(R4)年度の実績

表彰

福武教育文化賞 5件

小林 照尚 彫刻家	上田手漉和紙工場 (6代目 上田 繁男 7代目 上田 康正)
森野 美咲 ソプラノ歌手	おはなしのWA♪ (代表 遠藤 寛子)
	ズンチャチャ (代表 須原 由光)

助成

事業内容	助成件数	助成金額
教育文化活動助成	127件(応募総数:216件)	3,000万円
先進的事業助成	12件	1,618万円
グローバル化事業助成	5件	150万円
瀬戸内文化育成助成	6件	230万円
福武教育文化賞受賞者フォロー助成	10件	300万円
合計	160件	5,298万円

先進的事業助成 国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座の教育研究[国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座]、【高校と地域の連携・協働】(今までのカタチから新しいカタチへ地域と共に進化する津商モール[岡山県立津山商業高等学校「津商モール」]、矢掛ジョブ図鑑 給食センター編[令和4年度矢掛高校ジョブ図鑑]、日本の資本主義の父ゆかりの井原市活性化プロジェクト[井原の魅力発掘委員会]、地域のビジネス活性化を目指した動画作成活動[探究の極意]、廃棄物を使って特産品をつくる。地域活性化を狙った活動[高粱高校 MEGUMI]、小中学生のための瀬戸内人権映画祭[瀬戸内人権映画祭実行委員会]、学校出前講座事業[公益社団法人 岡山県文化連盟]、【多様な芸術文化鑑賞支援】(健康と豊かな人生を創るためのビジュアルアート教育[Wellness & Artistic Okayama]、アーティスト・イン・スクール 廃校ブール公演『ドンキホーテ』[特定非営利活動法人アートファーム]、「岡山の美術」活性化事業[「岡山の美術」活性化事業実行委員会]、国吉祭2022 CARAVAN in和気町[一般社団法人クニヨシパートナーズ])

グローバル化事業助成 【英語力向上につながる研修事業】(小学校における外国語教育の指導の充実を図る取組[矢掛町外国語教育推進研究会]、イングリッシュビレッジ[備前まなび塾+英語体験教室実行委員会]、国際塾(全11回の講義)の開講、ESD Cafe URA2022の開催[特定非営利活動法人こくさいこどもフォーラム岡山]、大学生が岡山の見どころを紹介するアウトリーチ観光推進事業[岡山県立大学アウトリーチ自主ゼミナール])、【日中青年交流事業】岡山県内学校の日中青年交流推進[岡山県日中教育交流協議会]

瀬戸内文化育成助成 岡山河畔芸術祭[特定非営利活動法人アートファーム]、地域人材を活用した若者育成事業[瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会 若者育成事業チーム]、備讃瀬戸アクセスマップ2022[特定非営利活動法人公共の交通ラクダ]、岡山と香川の教育・研究をアートで繋ぐ交流[日本美術教育学会岡山支部]、こども芸術アプローチ活動[こども芸術アプローチ実行委員会]、「TAMAFES・20年の歩み展」の開催と楽しい文化活動の追及[玉野みなと芸術フェスタ実行委員会]

福武教育文化賞受賞者フォロー助成 郷土ゆかりの先人の研究と出版活動による社会啓発[竹内佑宜]、「ヒーロー」団塊世代の男たち[柴田れいこ]、若者と大人の志・志事 未来『ジブンゴト化』プロジェクト[備中志事人]、瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会たまのチューデントガイドプログラム[瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会たまのチューデントガイドプログラムチーム]、真庭市富原地区活性化のための地域交流アート展[「杜のアート展2022」実行委員会]、ダウン症ピアニストとプロ演奏家の交流コンサートの実現[川嶋 絢]、新モデルの音楽祭「全日本オンライン音楽祭」岡山杯の開催[山地真美]、「高齢者の孤立」を題材にした新作公演[「老いと演劇」OiBokkeShi]、The MOST in Japan2023特別企画 The MOST×岡山フィル[一般社団法人The MOST]、「能勢伊勢雄と岡山」[軸原ヨウスケ]

財団について

設立・経緯

- 1986年 福武哲彦(現株式会社ベネッセホールディングス創業者)の「岡山県の教育・文化の進展に役立ちたい」との願いから財団法人福武教育振興財団を設立
- 1996年 “既成の文化の枠にとらわれない文化の創造を目指す”財団法人福武文化振興財団を設立
- 2007年 教育文化振興の両事業をさらに効率化・一体的にするため、2財団を統合し財団法人福武教育文化振興財団としてスタート
- 2012年 公益財団法人に移行

概要

- 行政庁 岡山県知事
- 基本財産 基金235百万円——(株)ベネッセホールディングス株式191.9万株
- 収入 主に上記株式の配当金
- 役員・評議員(2023年6月現在)
 - 代表理事 理事長 松浦俊明 (株)南方ホールディングス 取締役
 - 代表理事 副理事長 片山浩子 (学)アジアの風 理事長
 - 業務執行理事 常任理事 小川隆正 (株)ベネッセホールディングス 元会長室長
 - 理事 谷一尚 林原美術館 館長
 - 福武美津子 (株)南方ホールディングス 取締役
 - 森田潔 川崎医科大学 特任教授/岡山大学 元学長
 - 監事 佐藤由美子 奥田法律事務所 弁護士
 - 福原一義 福原一義公認会計士事務所 所長
 - 評議員 足羽憲治 岡山県土地開発公社 理事長/岡山県 元副知事
 - 大原あかね (公財)大原美術館 代表理事理事長
 - 越宗孝昌 (株)山陽新聞社 相談役
 - 下妻道郎 (株)南方ホールディングス 取締役
 - 竹井千庫 (公財)日本教育公務員弘済会 岡山支部 支部長/岡山県教育委員会 前教育長
 - 中島義雄 ナカシマホールディングス(株) 常務取締役
 - 原憲一 RSKホールディングス(株) 取締役相談役
 - 松本芳範 (株)ベネッセホールディングス 常勤監査役
 - 守安収 岡山県立美術館 館長
- 名誉顧問 福武總一郎 (株)ベネッセホールディングス 名誉顧問

公益財団法人 福武教育文化振興財団

〒700-0806

岡山県岡山市北区広瀬町1番5号

(株)ベネッセコーポレーション広瀬町社屋

TEL: 086-221-5254

FAX: 086-232-3190

E-MAIL: eczaidan@fukutake.or.jp

URL: <https://www.fukutake.or.jp/>



福武教育文化振興財団
Webサイト

みなさまから送っていただいた「岡山の青空」の写真で財団をイメージする青色を表現しました。

